

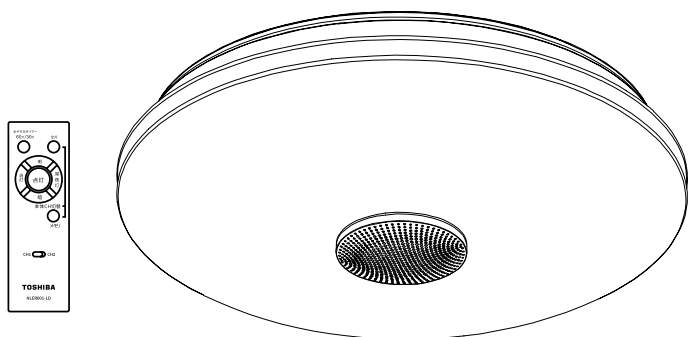
# TOSHIBA

## LEDシーリングライト スピーカー付き

LED照明器具 (家庭用)

### 取扱説明書

保管用



器具形名	
~6畳	NLEH06018A-SDLD
~8畳	NLEH08018A-SDLD

日本国内専用  
Use only in Japan

このたびはLED照明器具をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございました。

- この商品は、NVCライティングジャパン株式会社が東芝ライテック株式会社とのライセンス契約のもと取扱っております。
- この商品を安全に正しく使用していただくために、お使いになる前にこの取扱説明書をよくお読みになり十分に理解してください。
- お読みになった後は、お使いになるかたがいつでも見られるところに必ず保管してください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

工事店様へ  
工事終了後、この取扱説明書を必ずお客様へお渡しください。



Bluetooth®ワードマークおよびロゴは登録商標であり、Bluetooth SIG, Inc. が所有権を有します。NVCライティングジャパン株式会社は使用許諾の下でこれらのマークおよびロゴを使用しています。その他の商標および登録商標は、それぞれの所有者の商標および登録商標です。

### もくじ

使う前に	
安全上のご注意	2
お知らせ	3
各部のなまえと付属品	5
取り付け前の確認	7
取り付けかた	7
使いかた	
チャンネルの設定方法	11
あかりをつける	11
タイマー予約	13
音楽を再生する前の準備	14
音楽を再生する	15
必要な時に	
お手入れのしかた	16
取り外しかた	16
故障かな? と思ったら	17
仕様	18
保証とアフターサービス	20

# 安全上のご注意

必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産の損害を防ぐために、お守りいただくことを説明しています。

「表示の説明」は、誤った取り扱いをした時に生じる危害・損害の程度の区分を説明し、「図記号の説明」は図記号の意味を示しています。

## 表示の説明

## 図記号の説明

	<b>警告</b>	「死亡または重傷を負う可能性がある内容」を示します。
	<b>注意</b>	「軽傷を負うことや、家屋・家財などの損害が発生する可能性がある内容」を示します。

	中の絵と近くの文で、してはいけないこと（禁止）を示します。
	中の絵と近くの文で、しなければならないこと（指示）を示します。
	中の絵と近くの文で、注意を促す内容を示します。

## 警告

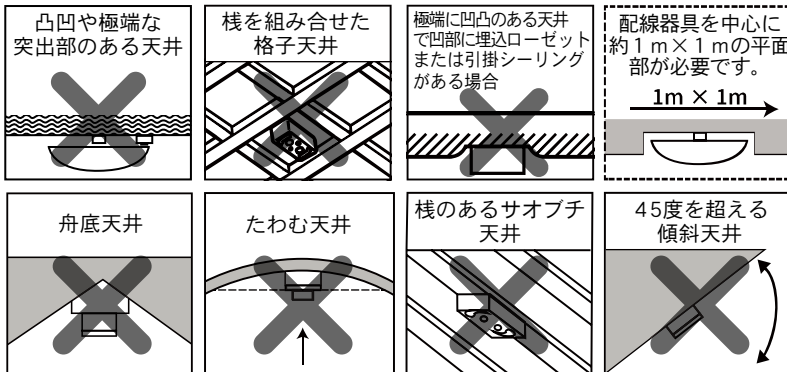


- 分解・修理・改造はしない  
(火災・感電・落下してけがの原因)



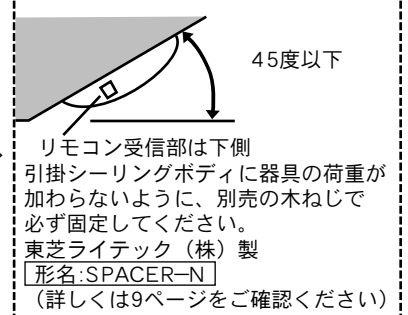
- 次の場所には取り付けない  
(取り付けが確実でない場合、火災・感電・落下してけがの原因)  
天井の材質や構造によっては、天井面が変色する場合があります。

◎この器具は天井取り付け専用です。照明器具がガタついたり、簡単に回転したりする場合は、取り付けが不十分です。



配線器具は必ず丈夫な天井面に確実に取り付けてください。

45度以下の傾斜天井に取り付ける場合

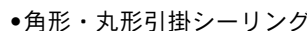
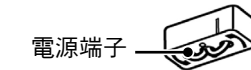
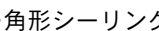


棧のある竿縁（サオブチ）天井に取り付ける場合は、別売の「竿縁天井アダプター」をご使用ください。NVCライティングジャパン（株）製  
[形名: NLEX90000] (詳しくは10ページをご確認ください)

- 次の配線器具には取り付けない  
(火災・感電・落下してけがの原因)

次の場合は、配線器具の交換を電気店・工事店にご依頼ください。配線器具などの工事は、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。

- 破損しているもの
- ケースウェイに取り付けられたもの
- 角形シーリングハンガーが取り付けられたもの
- 位相調光器による調光使用はしない  
(破損・発煙の原因)
- 紙や布などを器具にかぶせたり、器具の近くに置いたりしない  
(火災の原因)
- グラグラしているもの
- 取り付けが不十分なもの
- 電源端子露出タイプ
- 角形・丸形引掛シーリング
- 埋込・露出引掛シーリング・配線器具が埋め込まれたもの



## ⚠️ 注意



禁止

- 屋外や湿気の多い場所・料理店・厨房及び水や加熱した油を大量に使用する場所で使用しない（火災・感電・故障・破損・音質低下の原因）  
◎この器具は非防水です。
- 温度の高い場所では使用しない（火災の原因）  
暖房器具・ガス器具などの真上や近くでは、使用しない  
◎この器具が使用できる温度は、5℃～35℃の範囲です。
- LED光源を直視しない（目に障害のおそれ）
- 光源部は手で押さえない（やけどの原因）



接触禁止



指示

- 点灯中や消灯直後は、器具に触らない（やけどの原因）
- 交流100Vの電圧で使用する（火災・感電の原因）
- 1年に1回の「安全チェックシート」による自主点検、および3年に1回の工事店などの専門家による点検を実施する（点検せずに長期間使い続けると、まれに発煙・発火・感電の原因）  
◎「安全チェックシート」は、東芝ライテック(株)のホームページに掲載しています。
- お手入れをする時は電源を切る（感電の原因）

### ■ ご使用についてのお知らせ

- LED光源は器具に組み込みのため、交換できません。
- LED光源にはバラつきがあるため、同じ形名の商品でも商品ごとに発光色や明るさが異なることがあります。
- 照射距離が近い場合や照射面などによって、光ムラが発生することがあります。
- 照明器具には寿命があります。設置して約8～10年たつと、外観に異常がなくても内部の劣化が進行しているため、点検・交換をおすすめします。  
※使用条件は周囲温度30℃、1日10時間点灯、年間3000時間点灯。（JIS C 8105-1解説による）
- 周囲の温度が高い場合や点灯時間が長い場合は、寿命が短くなります。
- アダプターは専用（付属）のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると、破損する場合があります。
- 必ず壁スイッチのある部屋でご使用ください。
- 器具を長時間使用しない時は、壁スイッチを切ってください。  
リモコンで消灯していても瞬時停電などにより点灯してしまうことがあり、不在中、長時間点灯したままといった事態もあります。
- 1個の壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り換わらない場合があります。
- 照明器具を取り外した時に、天井や内装材の材質、使用環境などにより、スポンジの跡がついたり、変色する場合があります。
- 照明器具を取り外した時、スポンジと天井の摩擦力が低下して、回ってしまう場合があります。
- 酸、アルカリ、硫黄などの腐食性雰囲気のところ（温泉地など）では、使用しないでください。短寿命の原因となります。
- 本製品の近くにあるラジオやテレビなどに雑音が入る場合があります。
- スピーカーの音量によっては、天井面より階上の床に音が伝わる場合があります。
- スピーカーに磁気カード（キャッシュカードや定期券）や時計などを近づけると正しく機能しなくなる場合があります。
- 近くでスマートフォンで通信している場合、雑音が発生し、正常に動作しなくなる場合があります。

### ■ Bluetooth®使用についてのお知らせ

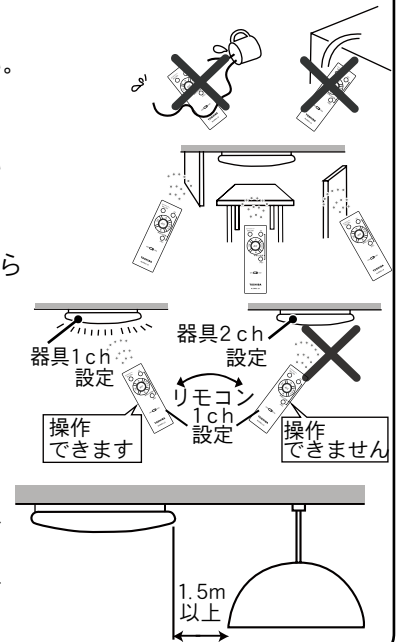
- 本製品はBluetooth®機能付きのすべての機器との動作を保証するものではありません。
- 音楽や音声の音割れが発生した場合は、Bluetooth®端末側の音量を下げてください。
- 音質調整により音がひずむ場合は、Bluetooth®端末側の設定を調整してください。
- Bluetooth®端末によっては消音にしても小さく音が出る場合があります。  
消音にしたい場合は、Bluetooth®端末の接続を解除してください。

## ■ 電波についてのお知らせ

- 本製品（スピーカー部）の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）及び特定小電力無線局（免許を要さない無線局）並びにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。
  1. 本製品を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局及び特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
  2. 万一、本製品から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合は、すみやかに電波の発射を停止してください。
- 本製品は次のような場合、障害物の影響を受けて正常に動作しないことがあります。
  1. 壁や天井や床などの隔たりを通して使用する場合。
  2. 近くに金属製家具がある場合。

## ■ リモコンについてのお知らせ

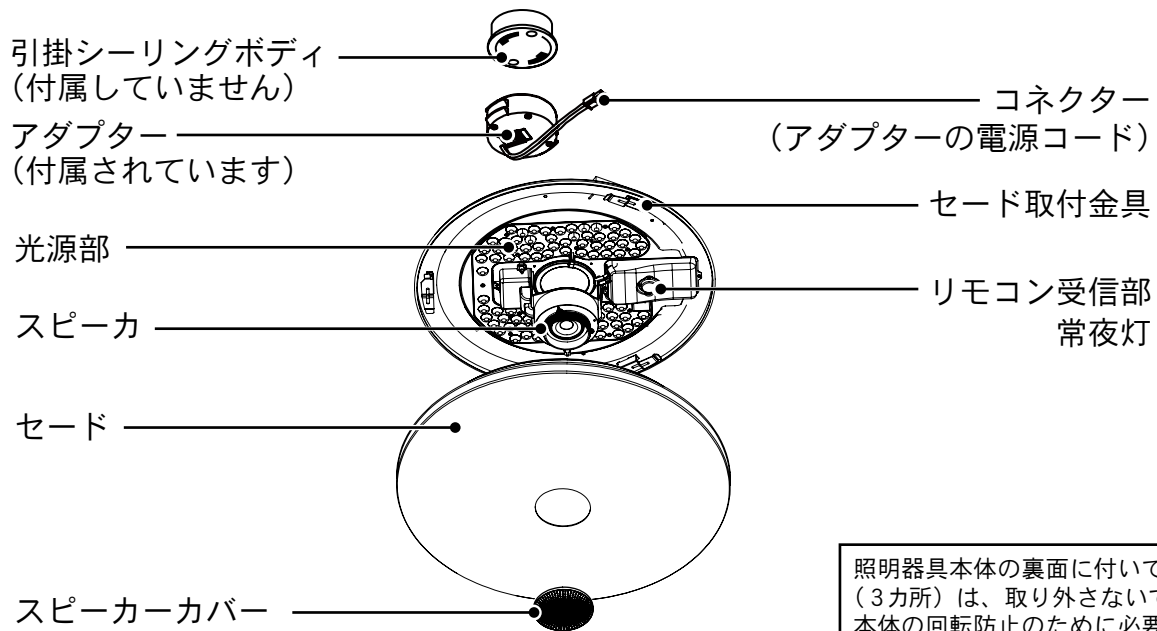
- リモコンは当社の照明器具専用です。テレビなど他の機器には使用できません。
- リモコンは照明器具の壁スイッチがONの時のみ切り換えできます。
- リモコンで消灯した場合は、約0.8W以下の電力を消費します。（マイコンを使用しているためわずかな電流が流れます）長時間使わない時は、壁スイッチを切ってください。
- リモコンを落としたり、水をかけたり、踏みつけたりしないでください。故障の原因となります。
- 照明器具とリモコンの間に、信号をさえぎるものがある場合は、照明器具が動作しないことがあります。その場合はさえぎるものを避けて、リモコンを操作してください。
- 天井、壁、床の色や材質によって、操作距離が短くなる場合があります。
- リモコンの送信部と照明器具の受信部は、よごれると動作しにくくなります。よごれたら乾いた布で拭いてください。また、電池が消耗すると動作しにくくなりますので、その場合は新しい電池と交換してください。（→7ページ）
- 照明器具の近くで赤外線リモコン方式のテレビやワイヤレス機器などを使用すると、リモコンが正常に動作しないことがあります。
- 点灯直後や全光点灯時、調光時などに、リモコンで切り換えにくいことがあります。その場合は、しばらくしてから切り換えてください。
- リモコンで消灯した後に停電が発生した場合、全光点灯などになることがあります。
- 2台の照明器具を一つのリモコンで操作する場合は、照明器具のチャンネルとリモコンのチャンネルを合わせて操作してください。（→11ページ）
- 蛍光灯器具が取り付けられた部屋で使用する場合は、蛍光灯器具から1.5m以上離して取り付けてください。



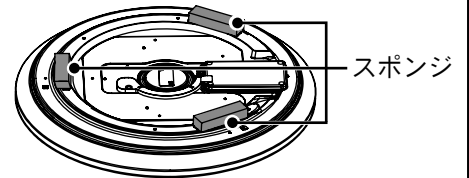
# 各部のなまえと付属品

お買い上げの商品と取扱説明書に記載したイラストは異なることがあります。

## 照明器具



照明器具本体の裏面に付いているスポンジ (3カ所) は、取り外さないでください。本体の回転防止のために必要です。

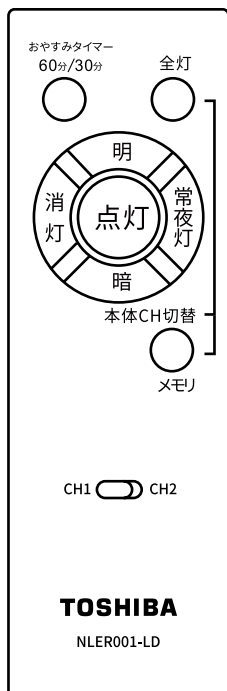


### お願い

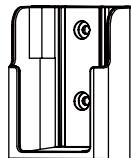
- アダプターは、専用 (付属) のものを使用してください。専用のもの以外を使用すると、落下や破損する場合があります。
- 万一、動作に異常が生じた場合は電源を一度切って、入れ直してください。  
 (壁スイッチを一度切るか、壁スイッチがない場合は、電源コネクタを一度外し、取り付け直してください)

## リモコンとリモコン付属品

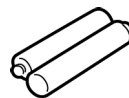
### リモコン (NLER001-LD)



- リモコンホルダー



- 単4形乾電池 (2本)



※動作確認用です。

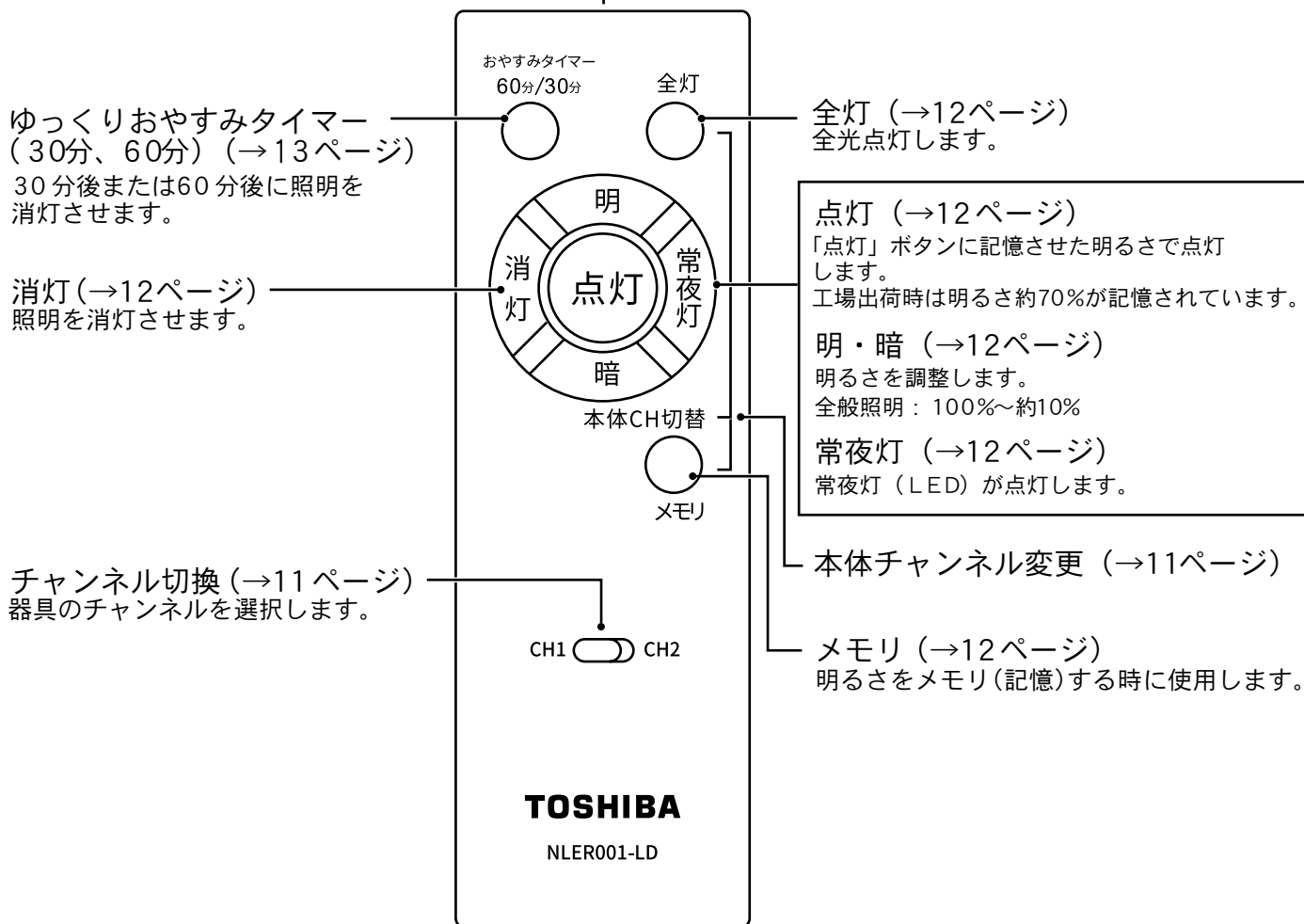
- 壁ホルダー取付用木ねじ (2本)



リモコン  
(NLER001-LD)

LED送信部

操作する時は、ここを照明器具へ  
向けてください。

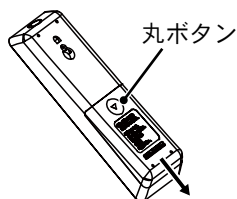


## リモコン (つづき)

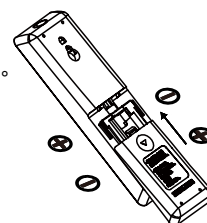
### ■ 乾電池の入れかた

- 単4形乾電池を2本ご使用ください。

1 後ろカバーの丸ボタンを  
押しながらスライドしてください。



2 表示に合わせて極性+を間違えない  
ように入れて、カバーを開けてください。



#### お願い

- 乾電池を交換する時は、必ず同時に2本とも新しいものに交換してください。動作不良の原因となります。
- 長期間リモコンを使用しない場合は、乾電池を外してください。液漏れなどでリモコンを傷める原因となります。

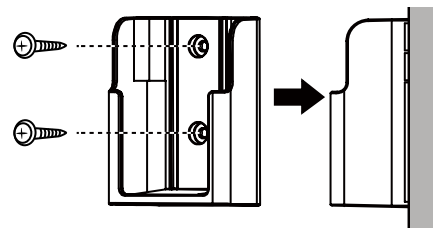
お知らせ ● 乾電池の寿命の目安は、1日10回使用した場合で約9カ月です。

### ■ リモコンホルダーの使いかた

リモコン送信機の紛失を防止するため、リモコンホルダーが同梱されています。

壁面に、付属の木ねじで取り付けてご使用ください。

リモコンがききにくい場合は、リモコンホルダーから外して送信部を照明器具に向けて操作してください。



## 取り付け前の確認



### 天井の配線器具の確認

天井に付いている引掛シーリングボディを確認してください。

天井に右図の引掛シーリングボディが付いていれば、  
取り付けられます。

右図以外の引掛シーリングボディの場合、または引掛シーリングボディが設置されていない場合は、  
取り付けられません。電気店・工事店にご相談ください。

配線器具などの工事は、電気工事の有資格者による施工が義務付けられています。

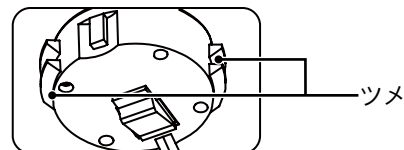
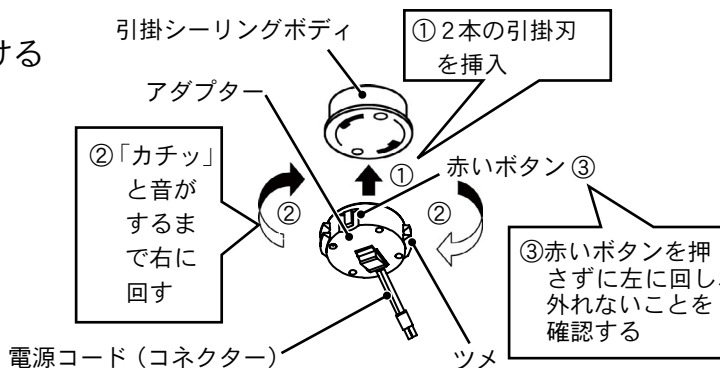
JIS C 8310シーリングローゼットに記載の 引掛シーリングボディに適合しています。	
天井からの出しろが22mmの 引掛シーリングボディ	天井からの出しろが11mmの 引掛シーリングボディ
 角形・丸形引掛シーリングボディ	 埋込引掛シーリングボディ

## 取り付けかた

### 器具の取り付け手順 ...安全のため、電源を切った状態で取り付けてください

#### 1 引掛シーリングボディにアダプターを取り付ける

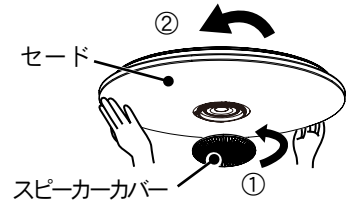
- ① アダプターの2本の引掛刃を  
引掛シーリングボディに挿入する
- ② 「カチッ」と音がするまで右に回す
- ③ 赤いボタンを押さずに左に回し、  
外れないことを確認する



# 取り付けかた (つづき)

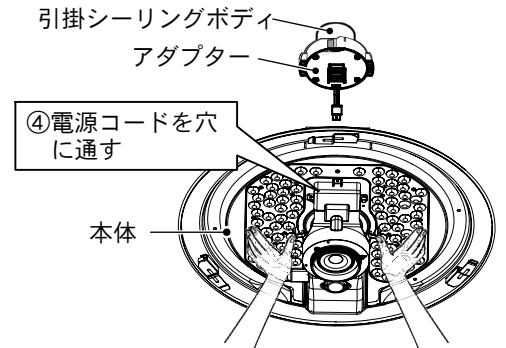
## 2 本体を取り付ける

- ① スピーカーカバーを左に回して取り外す
- ② 「カチッ」と音がするまでセードを左に回し、取り外す
- ③ 本体の中央の穴にアダプターの位置を合わせる
- ④ アダプターの電源コードを本体の中央の穴に通す



### 警告

- 手順に従って正しく取り付けてください。器具が落下してけがの原因となります。
- 光源部は支える程度で、強く押さないでください。破損の原因となります。
- 本体は必ず両手で支えて押し上げてください。器具が落下してけがの原因となります。
- 本体の側面を持って押し上げないでください。破損の原因となります。

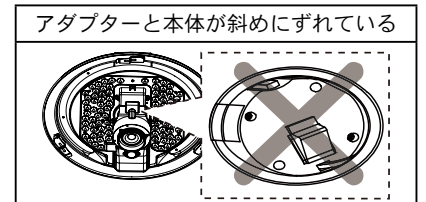
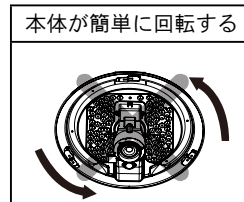
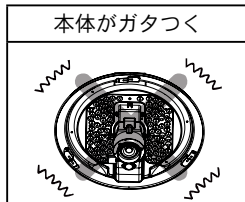


- ⑤ 「カチッ」と音がするまで本体を押し上げる

<p>天井からの出しろが22mmの引掛シーリングボディの場合</p> <p>角形・丸形引掛シーリングボディ</p>	<p>天井からの出しろが11mmの引掛シーリングボディの場合</p> <p>埋込引掛シーリングボディ</p>
<p>電源コードを本体の中央の穴に通してください。 「カチッカチッ」と2回音がするまで本体を押し上げてください。</p> <p>アダプターを横から見た図</p>	<p>電源コードを本体の中央の穴に通してください。 「カチッ」と1回音がするまで本体を押し上げてください。</p> <p>アダプターを横から見た図</p>
<p>• 2回押し上げて、アダプターのツメを金属の段に取り付けてください。</p>	<p>• 1回押し上げて、アダプターのツメを金属の段に取り付けてください。</p>

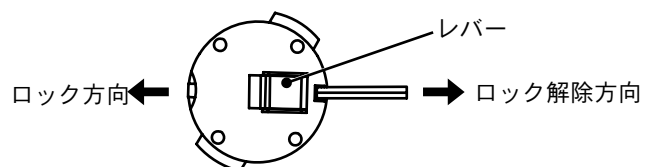
- ⑥ 本体の取り付け状態を確認する

- 右図の場合は再度取り付け作業を行い、取り付け状態を確認してください。



- ⑦ アダプターをロックする

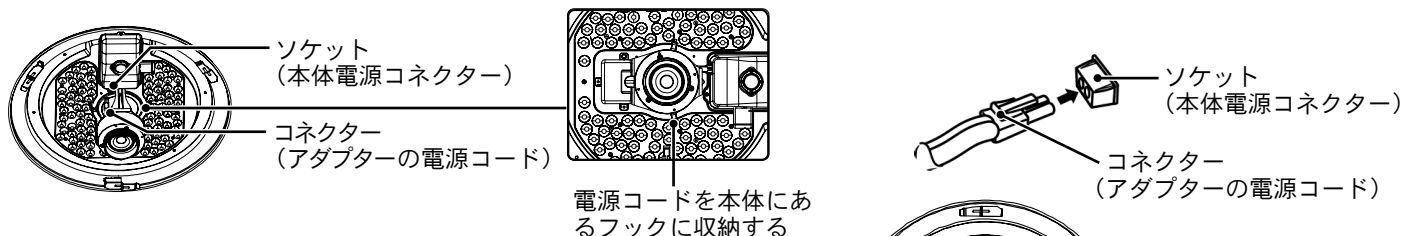
- アダプターのレバーを「カチッ」と音がするまで、ロック方向へスライドして、アダプターをロックしてください。





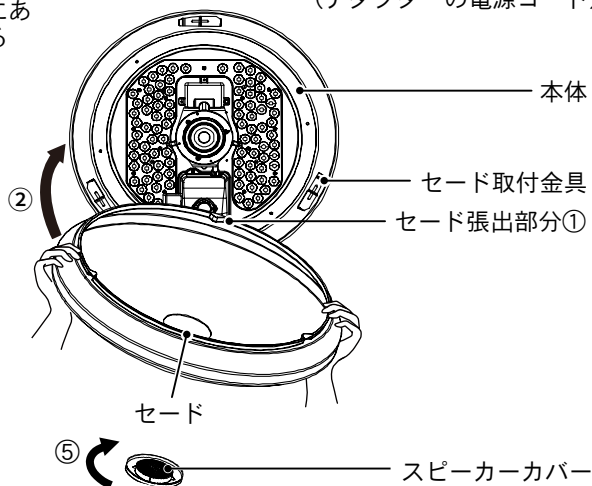
# 取り付けかた (つづき)

## 3 コネクターをソケットに差し込み、抜けないことを確認する



## 4 セードを取り付ける

- ① セードの張出部分を、セード取付金具とセード取付金具の間に合わせる
- ② セードを持ち上げる
- ③ 「カチッ」と音がするまで、セードを右に回す
- ④ セードを軽く下に引っ張って、外れないことを確認する
- ⑤ スピーカーにスピーカーカバーのネジ山を合わせ、右に回して取り付ける



**警告**

- コネクターを差し込んだ後に、本体を回転させないでください。コネクターが外れて、発熱・発火の原因となります。
- すべてのセード取付金具にセードが取り付けられたことを確認してください。取り付けが不十分な場合、落下してけがの原因となります。

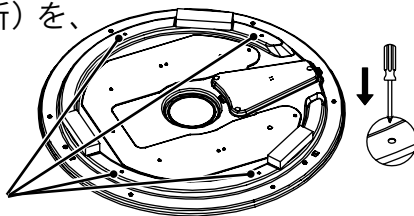
## 本体が安定しない場合や傾斜天井 (45度以下) に取り付ける場合 (別売:SPACER-N)

別売のスペーサー (4個) と木ねじ (4本) を使用して固定します。

- 1 本体のノックアウト (4カ所) を、本体の天井面からプラスのドライバーなどで打ち抜く

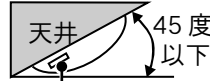
本体の変形とスピーカーの破損に気を付けて打ち抜いてください。

ノックアウト  
(スペーサー取り付け穴)



※ 機種によって本体天井面の形は違うことがあります。

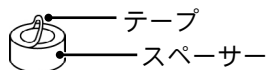
リモコン受信部側が傾斜方向の下側に位置するように、取り付けてください。リモコン受信部



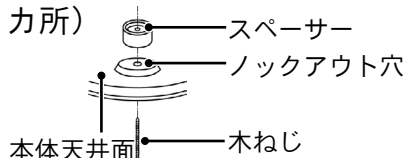
**警告**

- 引掛シーリングボディに照明器具の荷重が加わらないように、本体を木ねじで必ず固定してください。落下してけがの原因となります。

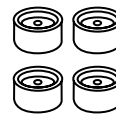
- 2 スペーサーのテープをはがし、手順1のノックアウト部分に貼り付ける



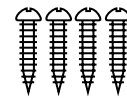
- 3 アダプターに本体を取り付けてから、木ねじで本体を固定する (4カ所)



スペーサー・木ねじセット  
東芝ライテック (株) 製  
形名: SPACER-N



スペーサー (4個)



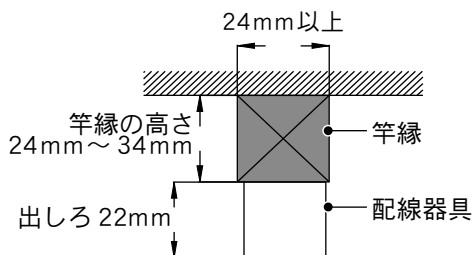
木ねじ (4本)

# 取り付けかた (つづき)

## サオプチ 棧のある竿縁天井に取り付ける場合 (別売: NLEX90000)

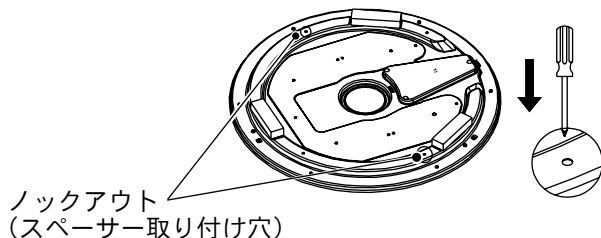
別売のスペーサー (2個) を木ねじ (2本) とスポンジ (3個) を使用して固定します。

### 1 竿縁の高さを確認する



### 2 本体に取り付け穴をあける

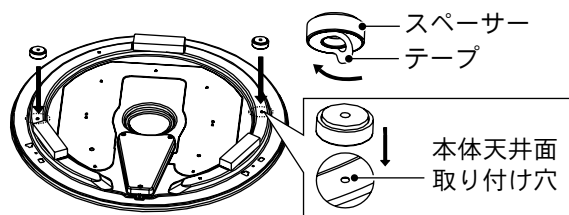
本体のノックアウト (2カ所) を、本体の天井面からプラスのドライバーなどで打ち抜いてください。



※機種によって本体天井面の形は違うことがあります。

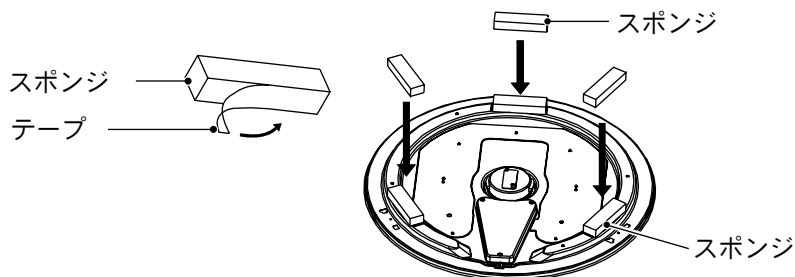
### 3 スペーサーを貼り付ける

スペーサー (2個) のテープをはがし、手順2で打ち抜いたノックアウト部分に貼り付けてください。



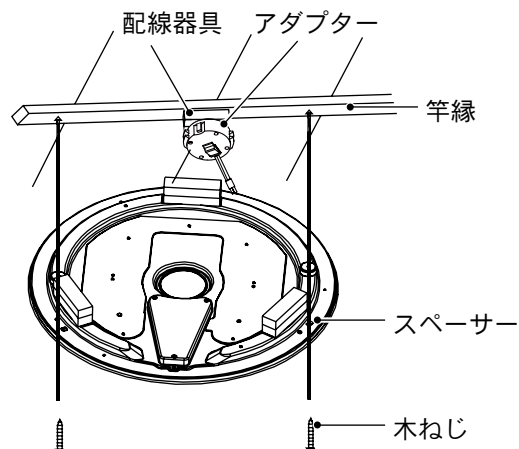
### 4 スポンジの貼り付け

スポンジの粘着面のテープをはがして、本体天井面にあるスポンジ (3カ所) と方向を合わせて貼り付けてください。



### 5 照明器具本体の取り付け

- ① 照明器具の取扱説明書に従って、配線器具にアダプターを取り付けてください。
- ② 取り付け穴と竿縁の方向を合わせ、アダプターに本体を取り付けてください。
  - 取り付け後、スポンジ (3個) は天井にあたるようにしてください。
- ③ 取り付け穴と竿縁の方向を合わせ、照明器具本体を木ねじ (2本) で竿縁に固定してください。
- ④ 電気接続方法・セードの取り付けかたは、照明器具の取扱説明書に従ってください。



**警告**

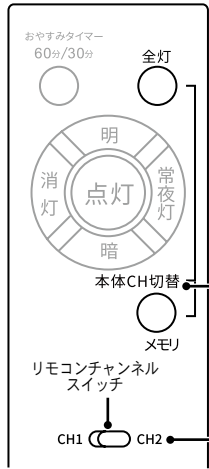
- 取り付ける時は、必ず木ねじ 2本で竿縁にねじ止めしてください。落下によるけがの原因となります。

# チャンネルの設定方法

チャンネルの合わせかた …同一の照明器具を2台使用する場合

お買い上げ時(工場出荷時)は、照明器具・リモコンのチャンネルは「CH1」に設定してあります。

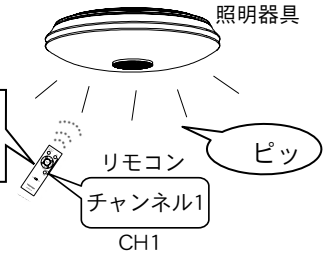
## ■ 照明器具とリモコンのチャンネルを「CH2」にする場合



### 1 リモコンで照明器具が操作できるか確認する

- リモコンのチャンネルスイッチが「CH1」で、全灯・点灯・常夜灯・消灯等の操作ができれば、照明器具のチャンネルは「CH1」の状態です。

リモコンの送信部を照明器具に向けて操作してください



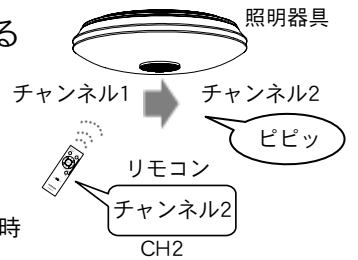
### 2 「メモリ」を押しながら「全灯」を押す

- 「ピピッ」と音が鳴って、照明器具のチャンネルが「CH2」に変更されます。

### 3 「リモコンチャンネル」スイッチを「CH2」に合わせる

- リモコンのチャンネルスイッチが「CH2」で、全灯・点灯・常夜灯・消灯等の操作ができることを確認してください。
- 再度設定を「CH1」に変更する場合は、手順2を行いリモコンチャンネルスイッチを「CH1」にあわせてください。

※ チャンネル「CH2」から「CH1」に変更する場合は手順2を行った時「ピッ」と音が鳴ります。



## ■ 2台の照明器具を一つのリモコンで個別に操作する場合

- 2台のうち1台の照明器具を手順1～3までの操作で照明器具のチャンネルを「CH2」にしてください。

※ 照明器具が2台設置されていて、それぞれの本体チャンネルを「CH1」と「CH2」にする場合、1台の照明器具の壁スイッチはOFFにしてから、手順1～3を操作してください。



# あかりをつける

壁スイッチで操作

## ■ 点灯・消灯する



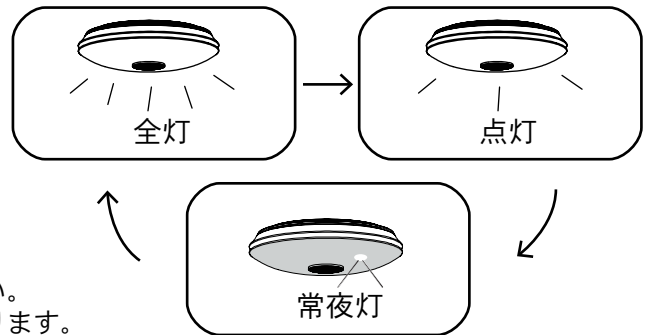
前回と同じ点灯状態で点灯します。



消灯します。点灯状態（明るさ）が記憶されます。

## ■ 点灯状態を切り換える

- 壁スイッチを1秒以内にOFF⇔ONすると、点灯状態が以下のとおりに切り換わります。



- 一つの壁スイッチで2台以上の照明器具を操作しないでください。同時に切り換わらない場合があります。

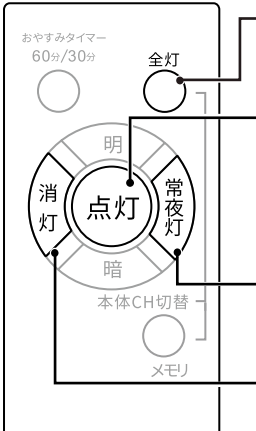
### お知らせ

- 壁スイッチを「OFF」にする前にリモコンで消灯した場合は、再び壁スイッチで「ON」にすると、常夜灯が点灯します。
- 壁スイッチで切り換えて常夜灯を点灯した場合は、リモコンで設定した常夜灯の明るさで点灯します。(→12ページ)

# あかりをつける (つづき)

## リモコンで操作

リモコンは照明器具の壁スイッチがONの時に使うことができます。



おやすみタイマー 60分/30分

全灯

明

点灯

常夜灯

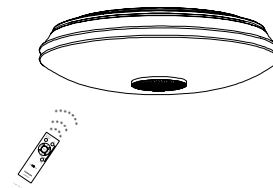
消灯

暗

本体CH切替

メモリ

- 全光点灯します
  - 消灯した状態からは、ゆっくり点灯します。
- 点灯します
  - 点灯ボタンに記憶させた明るさで点灯します。「点灯」ボタンに記憶させる方法は、「明るさのメモリ」の項をご覧ください。
- 常夜灯が点灯します
  - 調整した常夜灯の明るさで点灯します。
- 消灯します
  - 点灯した状態からは、ゆっくり消灯します。

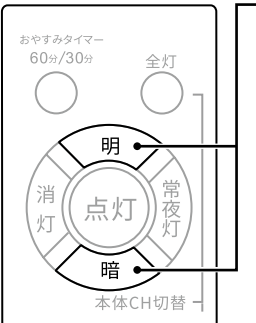


お願い

- リモコンの送信部を照明器具に向けて操作してください。

## 明るさの調整

明るさは100%～約10%、常夜灯は6段階の調整ができます。



おやすみタイマー 60分/30分

全灯

明

点灯

常夜灯

消灯

暗

本体CH切替

- 照明が点灯している状態で、「明」または「暗」ボタンを押す
  - 1回押すと、1段階ずつ明るさが変化します。
  - 押したままにすると、連続して調整できます。※1
  - 1回ずつ押して、明るさが上限・下限に達し、これ以上の調整ができないお知らせとして「ピピッ」と音が鳴ります。※2

※1 冬季など周囲の温度が低い場合、点灯直後は連続して調整できないことがあります。その場合は、1回ずつ押して調整してください。

※2 「明」または「暗」を押したままにすると、それぞれの明るさの上限・下限のお知らせとして「ピッ」と音が鳴ります。

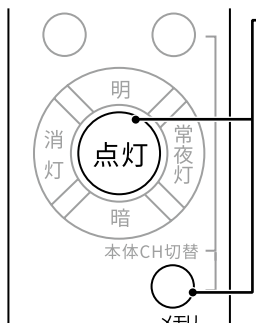
光色	明るさの段階
昼光色(全灯)	20段階(100%～約10%)
常夜灯	6段階

お知らせ

- 常夜灯の明るさは、常夜灯が点灯した状態で調整してください。調整した明るさは、メモリ(記憶)されます。
- 消灯状態で「明」ボタンを押すと下限の明るさで点灯します。

## 明るさのメモリ …調光状態を記憶させるために

お好みに調整した照明の明るさを、点灯ボタンにメモリ(記憶)させることができます。



おやすみタイマー 60分/30分

全灯

明

点灯

常夜灯

消灯

暗

本体CH切替

メモリ

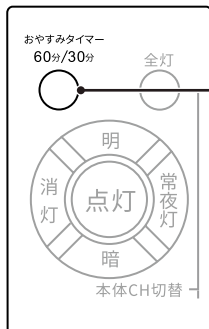
- メモリしたい明るさで点灯し「メモリ」ボタンを押しながら、「点灯」ボタンを押す
  - 「ピーッ」と音が鳴って、現在の調光状態がメモリされます。
  - すでにメモリした設定を変更する場合は、同じ手順を繰り返してください。

お知らせ

- 工場出荷時は、以下に設定してあります。  
点灯：明るさ約70%

# タイマー予約

ゆっくりおやすみタイマー予約のしかた … 30分または60分後にゆっくり消灯、または常夜灯になります

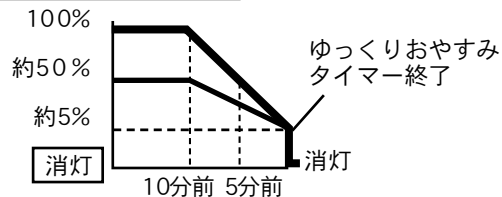


## ■ 「60分/30分」を押す

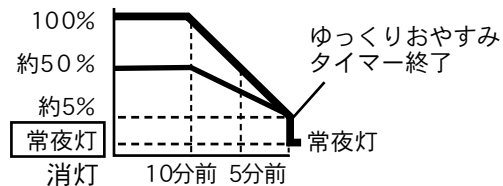
- 1回押すと「ピピッ」と2回音が鳴り、30分後に消灯します。
- 押したままにすると「ピピピッ」と3回音が鳴り、60分後に消灯します。

設定した時刻の10分前から少しずつ暗くなり、消灯または常夜灯が点灯します。

### 消灯にする場合 CH1 (チャンネル1)



### 常夜灯にする場合 CH2 (チャンネル2)



## お知らせ

- ゆっくりおやすみタイマーを解除する場合は、点灯ボタン(「全灯」「点灯」「常夜灯」「消灯」など)を操作してください。
- 常夜灯が点灯している時にゆっくりおやすみタイマーを設定した場合、チャンネル設定が「CH1」「CH2」どちらの場合でも、30分後または60分後に消灯します。この場合、ゆっくり暗くなりながら消灯しません。
- チャンネル設定のしかたは、11ページ「チャンネルの合わせかた」をご覧ください。

# 音楽を再生する前の準備

## Bluetooth® 端末とのペアリング

- 本製品はBluetooth® 機能のあるシーリングライトです。
- スマートフォン、タブレット、オーディオ製品、パソコン等のBluetooth® 端末とペアリングすることによって、Bluetooth® 端末での音楽再生及び音量調整が可能です。
- スマートフォン、タブレット等のBluetooth® 端末にて地デジテレビ及びFMラジオを再生する場合、スマートフォン、タブレット等のBluetooth® 端末の規格及び設定により再生不可の場合もあります。
- ペアリング後、本製品のBluetooth® ユニットにより大音量で再生する場合がありますので、予め再生する前にBluetooth® 端末の音量を低めに設定してください。
- Bluetooth® 端末の規格及び設定により、ペアリング不可、操作方法、表示、異常動作等の可能性があります。

## 初期設定

### 1 端末のBluetooth® 機能をONにする

スマートフォン、タブレット、オーディオ製品、パソコン等のBluetooth® 端末の設定方法に従って、端末のBluetooth® 機能をONにしてください。

### 2 壁スイッチを入れる

ペアリングしたい本製品の壁スイッチをONにしてください。

※既に壁スイッチがONの場合、一旦OFFにし、3秒以上経過後、再度ONにしてください。



### 3 ペアリングを行う

- ① スマートフォン、タブレット、オーディオ製品、パソコン等のBluetooth® 端末の設定方法に従って本製品の電源をONにしてから2分間以内にペアリングを行ってください。
- ② 本製品の登録名「NLEH-A-DLD」を選んでください。ペアリングが完了すると、スピーカーから「ポーン」の音が出ます。
- ③ ペアリング完了後、Bluetooth® 端末の操作により音楽及び音声再生します。

※本製品の壁スイッチをONにしてから、2分間以内にペアリングを行っていなかった場合、壁スイッチをOFFにし、3秒以上経過後、再度ONにしてください。



#### お知らせ

- 接続音の音量の調整はできません。
- ペアリングとはBluetooth® 端末とスピーカーをお互いに登録するための初期設定です。
- 登録されたスピーカーについては、再度ペアリングの必要はありません。接続が解除された場合、「接続を行う」の手順を行ってください。(→15ページ)

# 音楽を再生する

## Bluetooth® 端末との接続

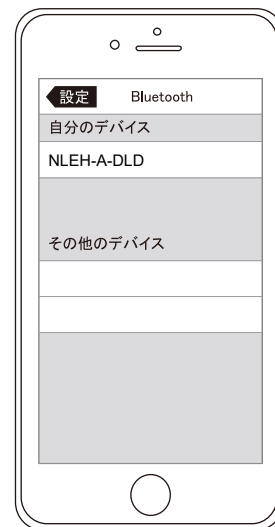
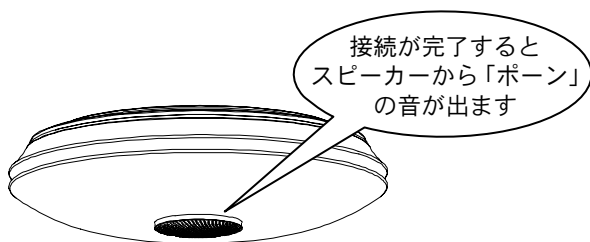
- 1台のシーリングライトで同時に複数のスマートフォン、タブレット、オーディオ製品、パソコン等のBluetooth® 端末との接続は不可です。1台のシーリングライトは1台のBluetooth® 端末としか接続できません。
- Bluetooth® 端末が他のBluetooth® 製品と接続している場合、一旦他のBluetooth® 製品との接続解除を行ってから、本製品と接続を行ってください。

### 1 接続を行う

- ① 本製品の壁スイッチをONにしてください。
- ② スマートフォン、タブレット、オーディオ製品、パソコン等のBluetooth® 端末の設定方法に従って、Bluetooth® 機能をONにしてください。本製品の登録名「NLEH-A-DLD」を選んで接続してください。接続が完了すると、スピーカーから「ポーン」の音が出ます。

#### お知らせ

- 接続音の音量の調整はできません。
- 選択しても接続できない場合、Bluetooth® 端末の設定方法に従って、本製品の登録名である「NLEH-A-DLD」を削除し、初期設定を再度行ってください。（→14ページ）



#### ■ 接続が解除された際の動作について

##### 接続が解除される例

- Bluetooth® 端末から本製品との接続を解除した時
- Bluetooth® 端末が本製品の通信範囲外になった時
- 照明器具の電源（壁スイッチ）がOFFとなった時

#### お知らせ

- 解除された時に解除音は出ません。
- Bluetooth® 端末が本製品の通信範囲外になった場合、一旦接続を解除されますが、5分以内に通信範囲内に戻れば、Bluetooth® 端末は自動的に再接続されます。
- Bluetooth® 端末から接続を切った場合と本製品の電源をOFF（壁スイッチ）した場合は、Bluetooth® は自動再接続されません。

### 2 音楽を再生する

- ① Bluetooth® 端末の操作により音楽及び音声を再生する。
- ② Bluetooth® 端末の操作により音量を調整する。



#### 警告

- 音が歪んだ状態で長時間使用しないでください。スピーカーが発熱し、火災のおそれがあります。
- 心臓ペースメーカーを装着している方はペースメーカーまたは販売業者に電波による影響についてご確認ください。本製品からの電波がペースメーカーの作動に影響を与える場合があります。
- 自動ドア、火災報知機などの自動制御器の近くで使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。
- 病院内や医療用電気機器のある場所で使用しないでください。電波が影響を及ぼし、誤動作による事故のおそれがあります。

# お手入れのしかた

いつも明るく安全にお使いいただくために、6か月ごとを目安に照明器具のお掃除をしてください

## ⚠️ 注意

- お手入れをする時は、壁スイッチを切ってください。感電の原因となります。
- シンナー、ベンジンなどの薬品を使ったり、殺虫剤をかけたりしないでください。変色、変質、破損の原因となります。

## ■ 照明器具

- ホコリや虫などは、中性洗剤に浸してよく絞ったやわらかい布で拭き取ってください。

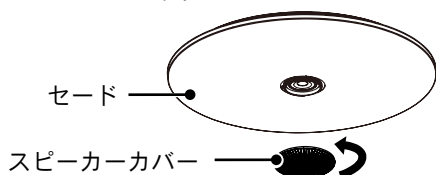
## ■ リモコン

- 送信部のよごれは、乾いた布で拭き取ってください。よごれたままにすると、動作しにくくなります。

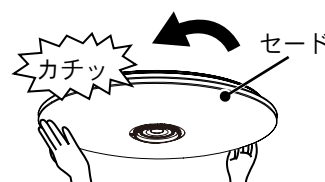
# 取り外しかた

器具の取り外し手順 ...安全のため、電源を切った状態で取り外してください

- 1** スピーカーカバーを左に回し、取り外す



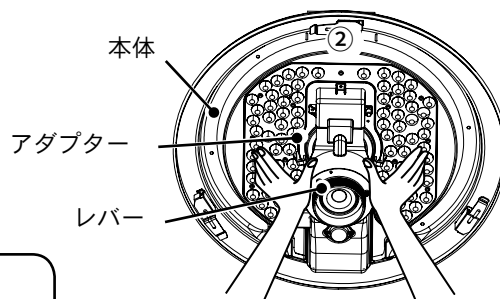
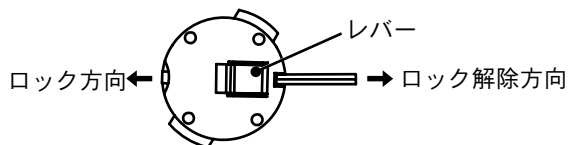
- 2** 「カチッ」と音がするまでセードを左に回し、取り外す



- 3** 本体を取り外す

- ① コネクターをつまみながら、ソケットから引き抜く
- ② 両手で本体を支えながら、スピーカー下のアダプターのレバーをロック解除方向にスライドさせて本体を外す

- ① つまみながら
- 

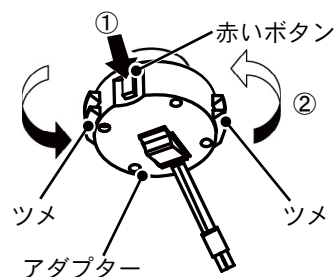


## ⚠️ 警告

- 本体を必ず両手で支えながら、外してください。本体が落下してけがの原因となります。

- 4** アダプターを取り外す

- アダプターの側面にある赤いロックボタン①を押しながらアダプターを左に回す②





# 故障かな？と思ったら

## ■こんなときは故障ではありません

- 冬季など周囲の温度が低い時は、明るくなるのに時間がかかったり、点灯直後にちらつきが発生したりすることがあります。
- 点灯中や消灯直後、「ピシ、ピシ」「ポツ、ポツ」という音がすることがあります。プラスチックが伸縮し、摩擦音が生じるためです。
- 照明器具を使用中、近くでラジオやテレビを使用すると雑音が入ることがあります。雑音が入る場合、照明器具とラジオ・テレビの距離をできるだけ遠ざけるか、それぞれの向きを変えてください。
- 照明器具交換の目安は、使用環境によって異なりますが、約8～10年が目安です。
- 停電などで明るさが切り換わったり、切り換えができなくなったりすることがあります。その場合は、壁スイッチなどで一度消灯すると正常な動作に戻ります。長時間使わない場合は、壁スイッチで消灯してください。
- 周囲の温度が高くなると、照明器具保護のため明るさが自動で下がるがあります。
- リモコンからの信号を照明器具が受信したときに、常夜灯がちらつく場合があります。
- 調光時、照明器具の発光面端部に明暗ができることがあります。
- 近くで電子レンジを使用するなど電波環境が悪い場合、音が途切れることがあります。照明器具と電子レンジの距離をできるだけ遠ざけてください。
- 高音質の音声を長時間再生している場合、音が途切れることがあります。スマートフォン、タブレットなどのBluetooth®機能をOFFしてから、再度ONにしてください。
- 本製品のペアリングの待機時間は電源をONにしてから2分間以内です。ペアリングの待機時間を過ぎるとペアリングができません。壁スイッチをOFFにし、3秒以上経過後、再度ONにしてください。
- スマートフォン、タブレットなどのBluetooth®端末と本製品の間に障害物がある場合、音楽の操作ができないことがあります。その場合は障害物を避けて、音楽の操作をしてください。
- Bluetooth®端末によっては消音にしても小さく音が出る場合があります。消音にしたい場合は、Bluetooth®端末の接続を解除してください。

## ■次の点をお調べください

現象	考えられる原因	処置
リモコンで照明器具が操作できない	リモコンに電池が正しく入っていない。	電池を正しく入れてください。(→7ページ)
	照明器具とリモコンのチャンネルが合っていない。	チャンネルを合わせてください。(→11ページ)
	壁スイッチがOFFになっている。	壁スイッチをONにしてください。
	リモコンの電池が消耗している。	新しい電池に交換してください。(→7ページ)

# 仕様

## ■ 照明

器具	定格電源電圧	電源周波数	待機電力
～6畳	AC100V	50/60Hz 共用	0.8W
～8畳	AC100V	50/60Hz 共用	0.8W

形名	全光束 (lm) ※1	消費電力 (w) ※2	固有エネルギー 消費効率 (lm/w)	光源色 ※3	調色機能 ※4
NLEH06018A-SDLD	3699	照明部: 29.6 (スピーカー部: 1.0)	124.9	昼光色	なし
NLEH08018A-SDLD	4299	照明部: 34.4 (スピーカー部: 1.0)	124.9	昼光色	なし

※ 1 全光束値は、主（全灯・全光時）に使用される光源色の最も高い光束値を表しています。

※ 2 消費電力は、主（全灯・全光時）に使用される光源色の最も高い消費電力値を表しています。

※ 3 光源色は、JIS Z 9112 (2012) の規定に準じています。

※ 4 調色時は全光束、消費電力、固有エネルギー消費効率が変わります。

## ■ 照明Bluetooth®スピーカー

バージョン	Ver. 4.2
クラス	Class 2
対応プロファイル	A2DPv1.3
対応コーデック	SBC
記憶可能なペアリング台数	最大8台
動作距離	約10m
実用最大出力	5.0W
消費電力	1.0W



形名	お名前 ふりがな			<b>様</b>
★お客様	ご住所			
	電話			
保証期間	本体、LED器具の点灯装置	5年	★お買い上げ日	
	セード、グローブ、リモコン送信器	1年	年 月 日から	
★ご販売店	住所・店名			電話

### NVCライティングジャパン株式会社

〒110-0016 東京都台東区台東3丁目16番地5号

本書は、取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書による正常なご使用で、保証期間中に故障した場合に、本書記載内容にて無料交換をさせていただきますことをお約束するものです。

保証期間中に故障が発生した時には、保証書をご準備の上、お客様ご相談センターへお問い合わせください。

★印欄に記入のない場合は有効とはなりませんので、必ず記入の有無をご確認ください。本書は再発行いたしませんので、紛失しないように大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとで無料交換をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。

#### 個人情報の取扱いについて

1. 本書にご記入いただいた住所などの情報は、保証期間内のサービス活動およびその後の安全点検活動のために利用させていただきます場合がございますので、ご了承ください。
2. 弊社から交換を委託している会社などに必要なお客様の情報を預託する場合がございますが、個人情報保護法および弊社と同様の個人情報保護規定を遵守させていただきますので、ご了承ください。

#### ■ 保証について

- 電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- 24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、保証期間の半分の期間とします。
- 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料交換をさせていただきます。

#### ■ 交換を依頼される時

- 保証期間中は保証書をご準備の上、お客様ご相談センターへお問い合わせください。
- 保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店にお問い合わせください。
- アフターサービスについてご不明な点並びに交換に関するご相談は、お客様ご相談センターにお問い合わせください。
- 器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

#### ■ 保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には免責になります。
  - (イ) 誤ったご使用や不当な修理・改造で生じた故障、損傷。
  - (ロ) お買い上げ後の落下や輸送などで生じた故障、損傷。
  - (ハ) 火災、天災地変（地震、風水害、落雷など）、塩害、虫害、ガス害、異常電圧で生じた故障、損傷。
  - (ニ) 本書のご提示がない場合。
  - (ホ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句が書きかえられた場合。
  - (ヘ) 一般家庭以外（たとえば業務用や車両、船舶などに搭載）使用された場合の故障、損傷。
  - (ト) ご使用による器具のキズ、汚れ、および自然劣化。
  - (チ) 各部材の経時変化による外観の劣化やそれに伴う照明機能低下。
  - (リ) 施工上の不備に起因する故障、不具合。
  - (ヌ) 日本国内以外での使用による故障、損傷。
  - (ル) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障、損傷。
2. 出張交換を行った場合には、出張に要する実費を申し受けます。
3. 交換のために取り外したものは、特段のお申し出がない場合は弊社で引き取らせていただきます。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。  
This warranty is valid only in Japan.

#### ■ 製品について

- 本体の保有期間  
弊社は、この照明器具の本体製造打ち切り後6年保有しています。本体には、同等機能を有する代替品を含みます。

お取り扱い・お手入れについてご不明な点は  
**お客様ご相談センターへお問い合わせください。**

日本国内専用  
Use only in Japan

NVCライティングジャパン株式会社お客様ご相談センター

0120-363-383 (通話料:無料)  
受付時間:土・日・祝日を除く  
平日9:00~17:00

- お客様からご提供いただいた個人情報は、交換やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- 利用目的の範囲内で、当該製品に関連する協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

この製品は、日本国内用に設計されているため海外では使用できません。また、海外でのアフターサービスもできません。  
This product is designed for use only in Japan and cannot be used in any other country.  
No servicing is available outside of Japan.

#### ■ お客様メモ

購入年月日 年 月 日